

知っていますか？

予防できるの？

どうやって感染するの？

HTLV-Ⅰ感染症



I

HTLV-Ⅰって？

©2014 大阪府もずやん

- 「ヒトT細胞白血病ウイルス-Ⅰ型」の略称で、人に感染するウイルスの一つです。
- 主に白血球（リンパ球）に感染し、一度、感染すると、生涯にわたり感染したままです。
- HTLV-Ⅰを保有している方を「HTLV-Ⅰキャリア」と呼びます。
- 九州・沖縄地方に多い感染症でしたが、近年では、人口の大都市圏への移動により、近畿地方は九州地方に次いでキャリア数が多い状況です。
- 全国の感染者数は約72～82万人と推定されています。

II

どうやって感染するの？

- HTLV-Ⅰ感染者の精液、母乳、血液等に含まれる「ウイルスに感染した生きた細胞」が相手の体内に入ることによって感染は起こります。
 - ①性行為感染(水平感染) ②母子感染(垂直感染) ③輸血による感染
- HTLV-Ⅰの感染力は非常に弱く、性行為以外の日常生活において感染することはありません。



III

予防方法はあるの？

©2014 大阪府もずやん

①性行為感染症

- 適切にコンドームを使用することが有効とされています。
- 長期間にわたって性行為が続くパートナー間での感染、男性から女性への感染が多いと言われています。

②母子感染

- 母乳に含まれるリンパ球による感染が大多数です。現在は、「生後90日未満の短期母乳栄養」、「完全人工栄養」により、母子感染の多くは予防できます。

③輸血による感染

- 昭和62年以降、献血されたすべての血液のHTLV-Ⅰ抗体検査が実施されているため、輸血による感染はありません。

感染したら
どうなるの？



妊婦健診以外で
検査を受けられる？

©2014 大阪府もずやん

IV

検査方法はあるの？

- 大阪府の各保健所において月1回程度（保健所により異なる）、検査（予約制）を無料で実施しています。相談・予約につきましては、保健所の開庁時間をお願いします。対象者の条件（限定）や各保健所の実施日時等は、右記QRコードからご確認ください。
- 妊娠中の方に対しては、妊婦健診において、風疹抗体や梅毒の検査等と一緒に、妊娠30週までにHTLV-1の抗体検査が行われます（検査：自己負担なし）。



大阪府サイト

V

HTLV-1に感染したらどうなるの？

- HTLV-1感染により生じる可能性のある疾患「HTLV-1関連疾患」は、主に3つ（血液・神経・眼の病気）です。ただ、感染者の約95%の方は、生涯、発症することはありません（疾患の詳細は右記QRコードからご確認ください）



HTLV-1について

①成人T細胞白血病・リンパ腫(ATL)・・・

感染したリンパ球(T細胞)ががん化する病気。発症率は約5%で、潜伏期間は40年以上。病型によって、症状の現れ方や予後が大きく異なる。

②HTLV-1関連脊髄症(HAM)・・・

徐々に進行する。歩行障がいや排尿障がいが生じる。発症率は約0.3%で、潜伏期間は数年以上。指定難病の一つ。

③HTLV-1関連ぶどう膜炎(HU)・・・

眼球内のぶどう膜の炎症によって、視力低下が生じる。発症率は約0.1%で、潜伏期間は数年以上。薬による治療は可能だが、再発も多い。

VI

発症を予防する方法はあるの？

- 例えば、HIV感染症（潜伏期間：数か月から数年）は、抗ウイルス剤で発症予防が可能ですが、HTLV-1感染症については、発症を予防するための治療薬はありません。
- HTLV-1に感染しても、必ずしも発症するわけではありませんが、感染していることを知っていることで、症状が出現した場合に早期受診・早期治療につながるメリットがありますので、近親者に感染者がいる場合等は、検査受検についてお考えください。



情報ポータルサイト
「HoTLiVes(ほっとらいぶ)」



厚生労働省サイト